

第4学年図画工作科学学習指導案

日 時	平成18年9月15日(金)
場 所	興田小学校 けやきホール
児 童	4年生
指導者	菅原 恵美子

1. 題材名 「のぞいたら、不思議 虫むしワールド」

2. 題材について

(1) 題材について

本題材は、学習指導要領の中学年の目標(2)「材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、つくりだす能力、デザインの能力、創造的な工作の能力を伸ばすようにする。」を主なねらいとし、指導内容A表現の(2)のア「表したいことを表すために、形や色、材料などを生かし、それらの組み合わせの感じに関心を持ち、美しさや用途などを考え、計画を立てるなど工夫して表すこと。」を主な内容として設定した題材である。

4年生は、心の動きの面白さや不思議さを意識しながら、絵に表したり立体に表したりすることができるようになる時期と言われている。また空間的な表現力が身についてくるのもこの時期で、今回の題材はその発達段階を生かす内容のものとしてふさわしいと考えられる。まして高学年になると、客観的で科学的な見方も芽生えてくるので、中学年で柔軟な表現に対して逆に疑問を感じ、現実には起こりえない自由な発想や表現が出にくくなってしまおうという傾向もあるという。これらから、この題材は4年生でぜひ取り組んでおきたい作品であり、子ども達の興味を惹く、とても魅力的な題材であるとも言える。

(2) 児童について

本学級では図工の時間を楽しみにしている児童が多く、制作活動に於いてはどの子どもも意欲的に取り組んでいる。作品の計画段階ではあまり悩むことなく描き始められるが、構図が小さく細々した絵になり易い。絵の具の使い方にも大きな差が見られ、用具の使い方やしまい方等、一つ一つ確かめながら進めている所である。

一学期のコリントゲームと防火ポスターの制作では、水彩絵具を使った様々な技法を学習し、1人1人の中にその引き出しを増やしてきた。描く順序を考え、どの技法をどこに使うと自分の考えがよく表現できるかをこの題材において学ばせていきたい。

また、本校は今年5つの学校が統合したばかりで、これまで手がけてきた作品も学校によって異なっている。その点も踏まえながら技術面での支援を行い、どんどん新しい表現の仕方を開発して楽しむ子ども達の姿が見られるように進めていきたい。そして絵の具やクレヨン、クレパス等の画材だけでなく、おはじきや毛糸、紐、ビーズ等も使いながら表現していく楽しさも、この学習を通して味わわせたい。

(3) 指導にあたって

ここで大切にしたいのは、表現の開発である。自分の想像がより楽しく形に表せるよう、様々な描き方を見つけていってほしい。

初めは新聞紙をちぎる活動から、ランダムに貼り付ける活動へと発展し、その上に着色することで不思議な世界観を作り上げようというのが第一段階である。そして、1学期に作った「万華鏡」のように小さな穴から覗いた時に広がる不思議な世界を、子ども達の好きな虫を登場させることにより意欲をもたせながら想像し表現するという第二の段階に向かわせる。これが今回の学習構想である。

イメージスケッチの段階では、「見たこともない不思議な虫」をメインに、不思議な穴から見える不思議な世界を作り上げたい。

彩色の段階では、表現したいことが表せるように彩色の方法を試すコーナーを幾つか設けて、自由に活用できるようにしたい。また、一度体験している彩色方法をいつでも思い出せるよう掲示し、自分の作品作りに随時生かしていけるようにしたい。

仕上げの段階では、おはじきや毛糸、紐、ビーズ等、たくさんの中から好きな物を選択し、イメージに合った物を貼り付けてその世界観を表現したい。

3. 題材の目標

(1) 自分が想像した世界を描いたりつくったりすることを楽しもうとする。

【造形への関心・意欲・態度】

(2) 身近なものや経験したことなどをもとに想像を広げるとともに、色や構成、材料や用具などについて考え、表したいことの見通しを持つ。

【発想や構成の能力】

(3) 自分が想像した世界を表すことができる材料や用具などを自分で選び、試したり工夫したりしながら描いたりつくったりする。
【創造的な技能】

(4) 自分や友達の作品に関心をもつとともに、自分たちの作品のよさやおもしろさに気付いたり、表し方や感じ方の違いなどに気付いたりする。
【鑑賞の能力】

4. 準備

(1) 教師：新聞紙、ボンド、両面テープ、のり、貼り付けられる物(おはじき・モール・セロファン・紙粘土・おはじき等)

(2) 児童：水彩用具一式、カッター、カッティングマット、自分で貼り付けたい物(ビーズ・ビー玉・毛糸等)

5. 指導計画と評価規準(9時間)

次	学習活動	学習活動における具体的評価規準(評価方法)				
		関・意・態	発想・構想	創造的な技能	鑑賞の能力	備考
1次	新聞紙で遊ぶ中でできた破片を集めて貼り合わせ着色する。	新聞紙での遊びを楽しむとともに、ちぎる・貼る・着色するという活動を楽しんでいる。 (観察)				
2次	円く穴を開け、そこから見える不思議な世界を想像させ、簡単にスケッチする。	自分の想像したことを進んで発表したり思いついたことを進んでスケッチしたりしている。(発言・スケッチ)	穴から見える世界について想像を広げ、不思議な虫の世界のおよそのイメージをもっている。(発言・スケッチ)			
3次	前回のスケッチをもとに、不思議を表すことができるような虫の様子や構成を考え下絵を描く。	進んで考え、丁寧に下絵を描こうとしている。(観察・作品)	不思議な虫について想像を広げるとともに、その数や大きさ、位置などを考えるとともに、背景も含めて表し方の見通しをもっている。 (観察・作品)			
4次	不思議な虫の彩色をするとともに、それを生かすための背景を様々な材料や用具で表す。	自分が想像した世界を描いたりつくったりすることを楽しんでいる。 (観察・作品)	不思議な世界になるよう、適切な色や構成、材料や用具について考えている。 (観察・作品)	水彩絵の具等の用具の扱いを知るとともに、その他の用具や材料を自分で選び、試したり工夫したりして使いながら描いたりつくったりしている。(観察・作品)		
5次	互いの作品を鑑賞し合い、よさやおもしろさについて話し合う。	互いの作品に関心をもち、進んでよさやおもしろさなどを見つけようとしている。 (観察・発言)			自分や友達の作品のよさやおもしろさに気付くとともに、その表し方や感じ方の違いにも気付いている。 (観察・発言)	

5. 本時の指導

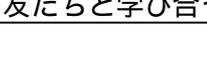
(1) 目標 自分が表したいことを表すのに適した材料や用具を用いて楽しく表現する。

(2) 本時の具体の評価規準

具体の評価規準 (評価方法)	A 十分満足できる	B 概ね満足できる	Bに至らない児童への手立て
関心・意欲・態度 【観察・作品】	自分が想像した世界を描いたりつくったりすることを楽しむとともに、集中して制作に取り組んでいる。	自分が想像した世界を描いたりつくったりすることを楽しんでいる。	活動の様子を見ながら具体的によさを示して認め、意欲化を図る。 想像した世界を対話を通して引き出し明確にさせる。
創造的な技能 【観察・作品】	水彩絵の具等の用具や材料を自分で選び、想像した世界が効果的に表れるように試したり工夫したりしながら描いたりつくったりしている。	水彩絵の具等の用具や材料を自分で選び、試したり工夫したりしながら描いたりつくったりしている。	活動の様子を見ながら、工夫できるところはないか考えさせる。 具体的な方法を対話を通して紹介したり、友達の作品を参考にさせたりする。

Aは、一つの例であり、Bの姿のうち、「主体性」「継続性」「独創性」「関連性」「総合的」等に優れている姿がある場合にはAとする。

(3) 展開

過程	学習活動(予想される児童の反応)	教師の働きかけ 評価
意欲付け 5分	<p>1. 前時の活動のふりかえり 前時の活動をふりかえる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・カブト虫と蝶を合わせた不思議な虫を描きました。 ・目が体よりもうんと大きい虫を描きました。 </div> <p>本時で取り組みたいことを発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな色のスパッタリングで不思議な感じを出したいです。 ・ローラーを使って不思議さを出します。 ・マーブリングを使って表したいです。 </div> <p>2. 学習課題の確認</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>不思議な虫の世界が広がるようなバックの表し方を工夫しよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時に必要な材料・用具の準備を確認しておく。 ・児童の作品を紹介し、更に不思議な感じを出すための背景を考えるよう促す。 ・これまでの彩色で表現した技法について振り返り、その効果について確認する。 ・自分の表したいことが表せるように友達の活動を参考にしたり、試したりしながら進めていくことを伝える。
表現 35分	<p>3. 表現 いろいろ試したり、資料や友達の作品を参考にしたりしながら、思いに合わせて彩色する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>試しの活動をする</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>資料を参考にする</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>友だちと学び合う</p>  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子を見ながら、具体的なよさを示して認めたり、対話を通して工夫できるところはないか考えさせたりする。 ・具体的な方法を対話を通して紹介したり友達の作品を参考にさせたりする。 《発想・構想の能力》 《創造的な技能》

ま と め	<p>4. 本時の活動のふりかえり 自分のイメージしたことがよく表れたところや工夫できたところなどを発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろ試したけど、ステンシルで思ったような色ができた。 ・初めはスパッタリングでやろうと思ったけど、ぼかしたらもっと不思議な感じになった。 ・ さんのを見て、私もマーブリングで表しました。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・何人かに発表させることにより、いろいろな技法から得られた効果を他の児童にも気づかせるようにする。
5 分	<p>5. 次時の活動の確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、次時の活動の参考となるような児童の作品を紹介する。

(4) 板書計画

のぞいたら、不思議 虫むしワールド

課題 不思議な虫の世界が広がるようなバックの表し方を工夫しよう。

【自分のイメージに合う方法】

に じ み	ぼ か し	ド リ ッ ピ ン グ	ス テ ン シ ル	ス パ ッ タ リ ン グ	ロ ー ラー	は け め	マ ー ブ リ ン グ
-------------	-------------	----------------------------	-----------------------	---------------------------------	--------------	-------------	----------------------------

【手順】
ためす。
イメージに合うかたしかめる。
・イメージに合った人 仕上げ
・イメージとちがった人 ためす

(5) 場の設定

屋外
窓
屋内

マーブリング
コーナー

新聞紙・ボンド等

貼り付ける材料

ステンシル	スパッタ リング
材料置き場	

黒 板